



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 前澤給装工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6485 URL http://www.qso.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本晴紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当管理統括部長 (氏名) 谷口陽一郎 TEL 03-3716-1512  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,837	14.3	2,062	0.7	2,106	2.4	1,472	6.7
2020年3月期第3四半期	18,222	△1.6	2,048	8.5	2,057	6.8	1,380	5.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,723百万円 (9.6%) 2020年3月期第3四半期 1,572百万円 (38.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	131.00	-
2020年3月期第3四半期	121.21	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	43,256	35,764	82.7	3,198.51
2020年3月期	41,604	34,735	83.5	3,078.98

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 35,764百万円 2020年3月期 34,735百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	17.00	-	23.00	40.00
2021年3月期	-	20.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	12.1	2,400	△9.9	2,440	△10.4	1,670	△6.7	146.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	12,000,000株	2020年3月期	12,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	818,544株	2020年3月期	718,544株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	11,241,456株	2020年3月期3Q	11,388,689株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の停滞により、企業収益は大幅な減少が続く、設備投資は企業業績の悪化を受けて減少基調で推移するなど、依然として厳しい状況にあります。感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、個人消費や生産、輸出に持ち直しの動きが見られたものの、冬季における再度の感染症拡大により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業環境につきましては、新設住宅着工戸数の減少、加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大により新設需要向けの販売が減少するなど、全体として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、社員と社員の家族および関係者の安全を最優先に考え、感染リスクの低減を図りながら、製品の安定供給に努めるとともに、お客様からの需要に応じてまいりました。給水装置事業におきましては、コロナ禍で民間工事が低迷する中、水道事業者が発注する布設替工事への製品納入に注力しつつ、あわせて各種製品の小型・軽量化、部品の共通化による製造コストの削減に取り組んでまいりました。住宅設備事業におきましては、ハウスメーカーやパワービルダーへの販路拡大を推進するとともに、連結子会社化した前澤リビング・ソリューションズ株式会社(床暖房事業)とのシナジー効果を追求してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高208億37百万円(前年同四半期比14.3%増)、営業利益20億62百万円(同0.7%増)、経常利益21億6百万円(同2.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益14億72百万円(同6.7%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。報告セグメントの区分方法の変更については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

## 〔給水装置事業〕

給水装置事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う新設住宅着工戸数の減少もあり、新設需要向けの販売が減少したこと等から、売上高は前年同期比9.0%減の119億10百万円となりました。セグメント利益は、主要原材料である銅の価格が、第2四半期連結会計期間以降、前年同期を上回って推移しましたが、前期より実施してきた価格改定による利益率の改善効果等もあり、前年同期と同水準の38億7百万円となりました。

## 〔住宅設備事業〕

住宅設備事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により建築工事の中断・延期等が生じたことや新設住宅着工戸数の落ち込みの影響を受けて継手や暖房部材等の販売が減少したものの、前期3月から連結の範囲に含めた子会社が寄与したことにより、売上高は前年同期比74.5%増の83億50百万円、セグメント利益は、前年同期比74.2%増の16億10百万円となりました。

## 〔商品販売事業〕

商品販売事業におきましては、鋳鉄商品の販売が増加したことから、売上高は前年同期比5.2%増の17億99百万円となりました。セグメント利益は、販売構成の変化により2百万円となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月26日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,649	13,204
受取手形及び売掛金	4,842	5,616
電子記録債権	4,526	5,189
有価証券	100	—
商品及び製品	4,616	4,002
仕掛品	85	107
原材料及び貯蔵品	1,023	999
その他	128	446
流動資産合計	27,974	29,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,173	2,098
機械装置及び運搬具(純額)	745	696
土地	4,622	4,622
建設仮勘定	14	17
その他(純額)	260	227
有形固定資産合計	7,817	7,662
無形固定資産		
ソフトウェア	535	422
のれん	364	337
その他	22	21
無形固定資産合計	922	781
投資その他の資産		
投資有価証券	3,019	3,497
長期貸付金	6	5
保険積立金	1,385	1,386
退職給付に係る資産	77	57
繰延税金資産	250	161
その他	153	139
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,889	5,245
固定資産合計	13,630	13,689
資産合計	41,604	43,256

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,007	4,445
電子記録債務	104	590
未払法人税等	531	193
賞与引当金	194	70
役員賞与引当金	55	45
その他	1,163	1,276
流動負債合計	6,057	6,622
固定負債		
繰延税金負債	—	156
退職給付に係る負債	715	618
資産除去債務	4	4
その他	91	90
固定負債合計	811	869
負債合計	6,869	7,492
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,358	3,358
資本剰余金	3,711	3,711
利益剰余金	28,193	29,183
自己株式	△1,298	△1,510
株主資本合計	33,965	34,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	759	989
為替換算調整勘定	74	63
退職給付に係る調整累計額	△64	△31
その他の包括利益累計額合計	769	1,020
純資産合計	34,735	35,764
負債純資産合計	41,604	43,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	18,222	20,837
売上原価	12,356	14,075
売上総利益	5,866	6,761
販売費及び一般管理費	3,818	4,699
営業利益	2,048	2,062
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	42	50
為替差益	—	7
保険解約返戻金	17	—
その他	27	23
営業外収益合計	101	96
営業外費用		
売上割引	25	25
為替差損	36	—
保険解約損	29	26
その他	0	1
営業外費用合計	91	53
経常利益	2,057	2,106
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
受取保険金	—	64
特別利益合計	0	64
特別損失		
固定資産除却損	4	6
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	4	7
税金等調整前四半期純利益	2,052	2,163
法人税等	672	690
四半期純利益	1,380	1,472
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,380	1,472

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,380	1,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	253	229
為替換算調整勘定	△91	△11
退職給付に係る調整額	30	33
その他の包括利益合計	192	251
四半期包括利益	1,572	1,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,572	1,723



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2億11百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が15億10百万円となっております。

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

のれんの償却方法については、10年間にわたる均等償却を行っております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	給水装置事業	住宅設備事業	商品販売 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,084	4,786	1,710	19,582	△1,359	18,222
セグメント間の内部売上高 または振替高	1	—	10	11	△11	—
計	13,085	4,786	1,721	19,593	△1,370	18,222
セグメント利益	3,846	924	37	4,809	△2,761	2,048

(注)1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△2,761百万円は、セグメント間取引消去△10百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,750百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	給水装置事業	住宅設備事業	商品販売 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,910	8,350	1,799	22,060	△1,222	20,837
セグメント間の内部売上高 または振替高	5	—	5	11	△11	—
計	11,916	8,350	1,805	22,072	△1,234	20,837
セグメント利益	3,807	1,610	2	5,420	△3,357	2,062

(注)1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△3,357百万円は、セグメント間取引消去37百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△3,395百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、業績管理区分の一部見直しに伴い、商品販売事業の一部と従来「その他」に含めていた連結子会社の業績について、「給水装置事業」および「住宅設備事業」へ報告セグメントの変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分表示により作成したものを記載しています。

（重要な後発事象）

（自己株式の消却）

当社は2020年12月18日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、以下のとおり自己株式を消却しました。

自己株式の消却の内容

- |                 |                                   |
|-----------------|-----------------------------------|
| (1) 消却する株式の種類   | 当社普通株式                            |
| (2) 消却する株式の総数   | 500,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合 4.17%） |
| (3) 消却日         | 2021年1月20日                        |
| (4) 消却後の発行済株式総数 | 11,500,000株                       |